

平成24年6月29日
日本生命保険相互会社

全国47都道府県の支社・拠点を対象とした ビルエネルギー管理システム（BEMS）の導入について

日本生命保険相互会社（社長：筒井義信、以下「当社」）は、全国の支社・拠点を対象に、順次、ビルエネルギー管理システム（以下、「BEMS」）を導入いたします。

BEMSとは、建物内の電力消費量や室温を一元的に管理・把握し、空調設備を運転制御するシステムで、当システムの導入により、一定の省エネルギー効果が認められます。

また、一定の要件を満たす物件にBEMSを導入する場合、「エネルギー管理システム導入促進事業」の補助金の対象となることから、事務所、店舗、病院などを中心に導入が広がっております。

当社では、全国47都道府県の支社・拠点846物件（外部テナントの入居していない自社保有物件）を対象に現地調査を進めており、472物件（平成24年6月25日時点）について、「エネルギー管理システム導入促進事業」への補助金交付申請を行い、その結果を踏まえ、平成24年7月より、順次、BEMSを導入いたします。

また、現在、調査中の物件につきましても、順次、交付申請を行い、最終的に約600物件の申請を行う見込みです。

「エネルギー管理システム導入促進事業」では、管理運営会社毎の総量で10%以上（※）の電力消費量削減を図ることとされており、当社では、BEMSを活用した取り組みにより、全国的な規模で無理のない節電を進めてまいります。加えて、これまでの節電取り組みを継続することで、消費電力の一層の削減に努めてまいります。

当社では、地球環境の保護に向け、エネルギーの節減など、今後も様々な面から取り組みを進めてまいります。

（※）直近1年間の電力消費量、過去3年間の平均電力消費量、平成22年の電力消費量のいずれかがベースラインとされます。

以上

<ご参考>

■日本生命の地球環境の保護に向けた取り組み

- 平成4年度より植樹活動をスタートし、(公財)ニッセイ緑の財団と協力して、森づくりに取り組んできました。これまでに植えた苗木は、130万本を超え、“ニッセイの森”は43都道府県の186ヵ所に広がっています。
- 平成13年5月に「環境憲章」を制定するとともに、オフィス内での省エネルギー・省資源・リサイクルを進めています。また、平成13年12月には大阪本店・東京本部において、環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」の認証を取得しました。
- 平成19年度より、「環境配慮型」融資金利の優遇制度を導入し、省エネルギー・耐震性に優れた住宅や太陽光発電システムが設置された住宅を新築・購入する個人のお客様、および「ISO14001」などの認証を取得している中小企業のお客様への融資の金利を優遇するなど、地球環境に配慮した取り組みを行っているお客様を支援しています。
- 平成21年度～22年度にかけて、大阪府内に保有するデータセンター内の温度分布を可視化し、最適な空調機の配置や風量の調節を行ったほか、平成23年には電算室内の気流を制御し、冷気と暖気を分離することで空調機の運転効率を向上させるなど、継続的な取り組みを通じ、空調消費電力の約40%の削減を実現しています。
- 平成22年4月より、ご契約者向けサービス「ずっともっとサービス」において、サンクスマイルを活用した寄付の受付を実施しており、寄付先の一つとして、(公財)世界自然保護基金(WWF)を設定しています。
- 平成23年10月に、米国子会社(NLI Properties West, Inc.)を通じ、サンフランシスコ市内に保有するオフィスビル「101カリフォルニア」に、米国グリーンビルディング協会より最高位の環境認証(LEED Platinum)が授与されるなど、環境に配慮したビルづくりに取り組んでいます。